

オイスカ高校生徒 中小企業を取材

ネットで魅力発信へ

オイスカ浜松国際高校（浜松市西区）の生徒が、LPガス販売のエネジン（中区）と共同で県西部の中小企業を取材し、インターネットなどで魅力を発信する活動を始めた。二十日には管楽器部品加工の山本工業（湖西市）を訪れ、製造業の現場に触れた。

若者の地元就職の促進につなげようとエネジンが企画した。二年生三十八人が

六つのグループに分かれ、福祉施設や観光業、製造業などの企業を取材。秋ごろまでに記事にまとめ、エネジンが運営するブログや学



山本哲也社長（左）から工程の説明を受ける生徒たち＝湖西市で

校内の新聞に掲載して情報発信する。

山本工業はサックスやオーボエなどヤマハ製の管楽器の部品加工を手がけている。生徒六人は山本哲也社長の案内で機械を使った切削や、人の手で小さな部品を溶接する「ロウ付け」と呼ばれる工程などを見て回った。その後は地域との関わりや企業理念、社員の働き方などについて山本社長に質問した。取材した大石望結さんは「楽器に詳しくはなかったけど、とても興味がわいてきた」と話した。山本社長は「中小の製造業も人手不足で大変。仕事を知って若い人に飛び込んできてもらえたら」と期待した。（中平雄大）